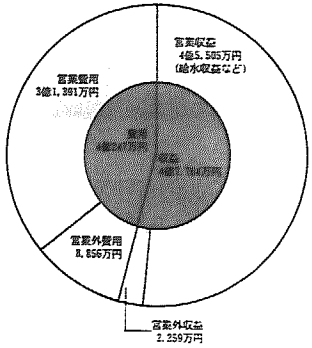


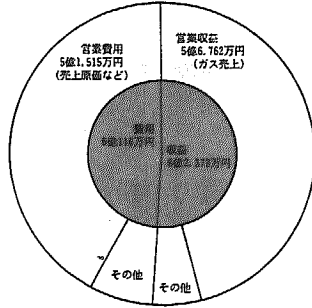
平成元年度事業会計決算

水道



水道事業会計は7517万円の黒字です。給水戸数は6961戸で前年度より138戸増、給水量は約327万立方メートルで前年度より6%増加しました。これに伴い収益は4億7764万円で4.0%の増収に。費用は4億247万円で前年度より5.2%の減。経営面を見ると石綿管の入替えを始めとする老朽管の改善工事や浄水施設の改善、赤水対策などの問題点を抱えており、一層の企業努力が望まれています。

ガス



ガス事業会計は2259万円の黒字です。供給戸数は6583戸で前年度より126戸増、供給量は暖冬の影響で12万立方メートル減の780万立方メートル。収益は前年度より5398万円減の6億2373万円。費用は6億116万円で前年度より6075万円の減。しかし、今後の需要増に対応した設備充実、本支管の改善工事、保安の強化等に多額の経費を要することから財政面で苦しくなると考えられます。

短 信

- 9月15日～10月15日
- 9月11～21日 議会9月定例会(17日厚生企業委員会、18日一般会計予算審査特別委員会、19日一般質問、21日最終日)
 - 25日 日報政経懇談会9月例会(新潟市、町長出席)
 - 10月1日 10月定例課長会議
 - 2日 役場職員研修(役場分館2階講堂)教育長送別会
 - 3～4日 公営企業委員会研修視察(長野県、町長随行)
 - 4日 ヤンマー農機研究所竣工式(山田、総務課長出席)
 - 4～5日 固定資産評価委員研修視察(佐渡、助役随行)
 - 5日 交通災害保険優良団体表彰(役場、町長出席)
 - 6日 ふるさと村取締役会(新潟市、町長出席)
 - 8日 国政調査調査票審査(16日まで、役場分館2階講堂)「税標語」表彰式(黒崎中、町長出席)
 - 9日 下水道事業研修会(巻町、町長出席)
 - 11日 広域清掃事務組合亀田町焼却場視察(亀田町、町長出席)
 - 12日 新潟流通センター9周年記念式典(新潟市、町長出席)町表彰委員会(役場)
 - 13日 福寿大観音落慶開眼法要(巻町、町長出席)
 - 15～16日 議会総務文教委員会視察研修(山形県、助役随行)新潟土木振興会視察研修(村上市、町長随行)

新潟西バイパス

小新・亀貝間が開通

新潟西バイパスの小新インターから亀貝インターの間が開通し、十月十二日(金)から利用できるようになりました。今回開通した部分の距離は



一・四キロで暫定二車線。同日、亀貝インターで記念式典が行われ、浅妻町長初め国・県・新潟市の関係者が出席、バイパスの延伸を祝いました。

すでに黒崎インター～小新インター間が昨年三月に開通利用されてきました。今回の開通により、町内の車の流れも大きく変化することが予想されます。



町政のさまざまな動きをお知らせします。

黒埼町の今昔

町立黒崎さん談

板井の柔道 (二)

敗戦後、小学校が使えないため 稽古場や畳の入れ替えで苦勞する

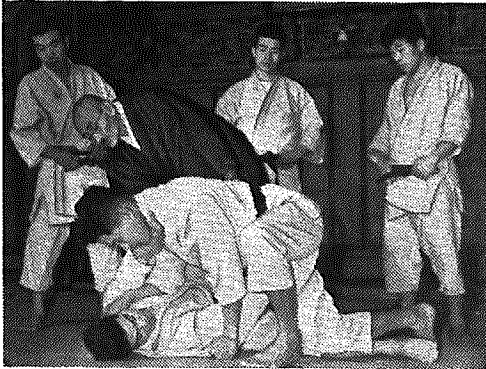
昭和十六年十二月、高橋半一郎が二段に昇段した同じ月に、高橋仁治郎、笠原治太郎の二人が出征し、板井柔道は高橋半一郎にゆだねられることになった。

十八年の半ばころ、高橋半一郎は三段となり、後輩の大矢茂夫や岡田一郎、佐野九十九、大久保清吉らが高橋半一郎の指導を受けて稽古に励んでいた。

十九年一月、高橋半一郎が入隊。あとを引き継いだ岡田

一郎、大矢茂夫が二十年春に初段になる。二人は八月初めに現役入隊したが、わずかに五日ほどで終戦、復員した。終戦後、板井にも大勢の若者が帰ってきたが、子供の時から日本は神国で必ず勝つと教え込まれていたため、敗戦のショックは大きかった。そうした虚脱状態から、柔道で若いエネルギーを発散させようと考えていた矢先、柔道の練習に学校を使うことを、占領軍から禁止された。

出稽古にはげむ稽古場を失ってしまった板井の若者たちは、板井神社を借りることを思いついた。板井神社は、一番組の端から南に数百メートルも離れた六軒というところにあり、稽古場となる板張りの拝殿は、十五畳くらいの広さしかなかった。畳を持ち込んで稽古を始めたが、二組で稽古して互いに力が入ると、隣の者につつかたり、投げられて拝殿の腰板にぶつけられて痛い思いをす



写真上/高橋半一郎出征中の板井有段者。左から、岡田一郎、大久保清吉、岡田昭二、大矢茂夫(故人)。(昭和22年3月9日、木場満行寺で撮影) 写真下/昭和31年ごろ新潟日報に載せられた写真。味方村吉江の高念寺道場で柔道の型を講習しているところ。中央で上になっているのが高橋半一郎。その上で型を見ているのが知恩師。右端が田辺健。(以上敬称略)

ることもよくあった。そんなことから、神社での稽古は間もなく断念されることになった。そこで、稽古場に個人の農作業場を借りることにしたが、どこの作業場も下がコンクリートになっていて、そのため、投げられることも痛かった。いろいろ工夫したが、板の間の畳の上で稽古するようになつた。とはいかなかった。それに場所を変えるたびに二十枚以上の畳を運ばなければならぬ。当時は板井にトラックも耕うん機もまだ一台も入っていない。非常に変な状態だった。

そのため、自然と出稽古の機会が多くなった。木場、小平方、大倉、松橋(白根市)とほとんど毎晩のように出稽古したという。

二十年の秋に岡田昭二(三番組)が柔道を始めたが、十一月に初段をとった。始めてからわずか二か月だった。

二十一年から二十二年にかけて、板井柔道部は岡田一郎、大久保清吉、大矢茂夫、岡田昭二、佐野九十九、広瀬広らが活躍した。昭和二十二年八月、高橋半一郎が復員。歌謡ショーで畳を貰う二十三年ころ、稽古用の畳がいたみ、形が崩れ使用不能になった。

そんな矢先、部員の一人が

耳よりな話を聞いてきた。大野の佐藤興業からの話で、当時かなり有名な歌手「橋本一郎とその楽団」が、〇月〇日の一日だけキャンセルになったので、「板井柔道部が金がいるのであれば安くしてやるからやってみないか」ということだった。

相談の結果、やることになった。会場は板井小学校。収益を多くあげるため、前売り券を作って町内だけでなく、近隣市町村にまで、部員たちが腰弁当てで売り歩いた。

売上げは上々で、当日の興業は大入り満員。そして、板井柔道部は三十枚の柔道畳を新調することができた。

小学校をこっそり借りるそのころ、笠井増五郎・板井小学校長は、進駐軍の学校使用の禁令がまだとけていなかったにもかかわらず、自分の一存で学校使用を黙認した。(前の校長の時は「電話一本で進駐軍が来るから」と断られた)

高橋半一郎、稽古台となる二十三年から二十五年にかけてのこと。当時の農家の労働は厳しく、田植えや草取りなど一日の農作業を終えるとくたくたになる。高橋半一郎がそうした労働を終え疲れて帰ると、よく高念寺から「彰恩が帰ってきたから、すぐ寺

へ来てくれ」という使いが来た。「柔道の相手をしてくれ」というのである。

彰恩師はその時のことを「大学三、四年のころ、休暇で家へ帰るとおやじはすぐ半一郎を呼びにやっていた。あのころは私も上り調子だったから、どれくらい力をつけたか見たかったんだろう。ところが吉江、味方では相手がとまるのがない。で、おやじは半一郎を見込んで迎えにやっていた。半一郎は四段になっていたが、私の相手ではなかった。私も試合のつもりでやっていたから、半一郎は投げられに来たようなんもんで、気の毒のようだった」と話している。

また、高橋半一郎も「疲れてくたくたになって家へ帰ると、これからすぐ来いってんだらう、疲れて行きたくもなかったが、知恩住職は尊敬する柔道の師匠で断るわけにいかねえし、しかたがねえ、我慢して行ったが、若(彰恩のこと)がまた帰るとね、きつくなつて、技をかけようと思ってもとて歯がたんで投げられてばかりいた。いやせつねえかつたのう」と話している。

執筆・宮田栄門 取材協力・高橋半一郎、岡田一郎、岡田昭二、田辺健(以上板井) 広川彰恩(味方村)(敬称略)

入札結果

総務課

工事名	工事業者	請負額	完成期限	入札日
集落道83号線改良舗装工事	(株)山際総合建設	5,232,400円	平成2年12月8日	9月10日
集落道83号線脇用水路改良工事	(株)山際総合建設	1,648,000	12月8日	9月10日
農村集落多目的共同利用施設工事設計委託	佐野建築設計事務所	1,957,000	平成3年2月28日	9月10日
農排108号線改良工事に地測量委託	白根測量設計(株)	1,112,400	平成2年10月9日	9月10日
黒崎町鳥原心停車場工事	(株)樋口組	14,914,400	12月10日	9月20日
町道鳥原寺地線(道路舗装)工事	福田道路(株)	10,712,000	11月22日	9月20日
集落排水34号線改良工事	(株)新潟廣瀬組	2,523,500	11月18日	9月20日
農道106号線改良工事	(株)藤由組	3,450,500	11月18日	9月20日
町道川前板井村中線交通安全施設(防護柵)工事	(株)新潟廣瀬組	4,532,000	11月28日	9月20日
町道黒鳥北場線補修(オ-パ-レ)工事	(株)加賀田組	14,523,000	12月31日	10月8日
町道善久北場線舗装補修工事	(株)志賀組	5,356,000	12月21日	10月8日
町道小平方線舗装補修工事	三建舗装(株)	1,957,000	12月1日	10月8日
町道立仏1号線(改・舗)工事	(株)志賀組	3,605,000	12月11日	10月8日
町道黒鳥10号線(側溝)工事	(株)吉井組	2,060,000	12月11日	10月8日